女川原子力発電所第	第2号機 工事計画審査資料
資料番号	02-補-E-19-0600-40-2_改 0
提出年月日	2021年3月11日

補足-600-40-2 設計基準対象施設の耐震重要度分類表について 設置変更許可及び建設時工事計画認可からの変更点

## 1. 概要

本資料は、添付書類「VI-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本 方針」のうち、「表 2-1 設計基準対象施設の耐震重要度分類表」について、設置変更許可段 階からの変更点を整理するとともに、建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点につ いて整理したものである。

2. 設置変更許可からの変更点

女川原子力発電所発電用原子炉設置変更許可申請書(2号発電用原子炉施設の変更)本文及 び添付書類の一部補正について(令和2年2月26日許可)からの変更点及び変更理由につい て,表1のとおり整理した。(変更箇所の詳細は添付資料1参照)

	<b>対応</b> ページ	6, 8	6, 7, 8	6, 7, 8	7, 8	2	8	8	8	œ	8
元 (1/2)	変更理由	工事計画認可申請名称への変更	百上	工画	設計進捗に伴う変更 (今回工事計画認可段階で波及的影響を考慮すべき施 設が明確になったことに伴う削除)	工事計画認可申請名称への変更	同上	同上	王臣	設計進捗に伴う変更 (耐津波設計等の構造確定に伴う追加)	工事計画認可申請名称への変更
表1 設置変更許可からの変更点 (1/2)	変更後	原子炉しゃへい壁	軽油タンク室	第1号機		原子炉ウェルカバー	第 3 号機	防潮堤(盛土堤防)	第 2 号機	防潮壁(第3号機放水立坑)	揚水井戸(第3号機海水ポンプ室防潮 壁区画内)
	変更前 (設置変更許可時)	原子炉遮蔽壁	軽油タンク基礎	1 号炉	前面護岸	原子炉遮蔽プラグ	3 号炉	防潮堤	2 号炉		揚水井戸
				( <u>C</u> )	9	Ĺ	8	6	(])		

(2/2)	
設置変更許可からの変更点	
表1	

対応 ページ	8	ø	œ	8	8	6	6
変更理由	設計進捗に伴う変更 (今回工事計画認可段階で波及的影響を考慮すべき 施設が明確になったことに伴う削除)	工事計画認可申請名称への変更	設計進捗に伴う変更 (今回工事計画認可段階で波及的影響を考慮すべき 施設が明確になったことに伴う削除)	設計進捗に伴う変更 (今回工事計画認可段階で波及的影響を考慮すべき 施設が明確になったことに伴う追加)	丁垣	記載の適正化 (土木構造物について明確化)	記載の適正化
変更後		アクセスルート (防潮堤 (盛土堤防))		前面護岸	第1号機取水路	建物・構築物、土木構造物	下位クラス施設のうち,その破損等に よって上位クラス施設に波及的影響 を及ぼすおそれのある施設
変更前 (設置変更許可時)	3 号炉掩水ポンプ室門型クレーン	アクセスルート	3号炉取水路	Ι	1	建物・構築物	下位の耐震クラスに属するものの破 損等によって上位の分類に属するも のに波及的影響を及ぼすおそれのあ る施設
	(]]	(13)	[]3	( <u>1</u> 4	(15)	( <u>1</u>	<u>(1</u> )

- 建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点 建設時工事計画認可からの耐震重要度分類が変更となった設備は、大別して以下の3ケ ースのものがある。
  - ① 耐津波に関する設備の新規追加(Sクラス)
  - 地下水位低下設備の新規追加(Cクラス)
  - ③ 非常用ディーゼル発電機等の燃料を貯蔵する設備の格上げ(C→S クラス)

それぞれの対象設備を表 2-1 示す。また,耐震重要度分類の変更ではないが,検討用地 震動が変更になった設備を表 2-2 に示す。

	設備名称	備考
<ol> <li>         耐津波に関する設 備の新規追加 (S クラス)     </li> </ol>	<ul> <li>・防潮堤(鋼管式鉛直壁)</li> <li>・防潮堤(盛土堤防)</li> <li>・防潮壁(第2号機海水ポンプ室)</li> <li>・防潮壁(第2号機放水立坑)</li> <li>・防潮壁(第3号機海水ポンプ室)</li> <li>・防潮壁(第3号機海水熱交換器建屋)</li> <li>・防潮壁(第3号機海水熱交換器建屋)</li> <li>・防潮壁(第3号機海水熱交換器建屋)</li> <li>・取放水路流路縮小工(第1号機取水路)</li> <li>・取放水路流路縮小工(第1号機放水路)</li> <li>・取放水路流路縮小工(第1号機放水路)</li> <li>・取放水路流路縮小工(第1号機放水路)</li> <li>・東放水路流路縮小工(第1号機放水路)</li> <li>・東放水路流路線小工(第1号機放水路)</li> <li>・東放水路流路線小工(第1号機放水路)</li> <li>・東京市北方路線</li> <li>・東京市北方路線</li> <li>・「東京市北方路</li> <l< td=""><td></td></l<></ul>	
<ol> <li>2 地下水位低下設備 の新規追加 (Cクラス)</li> </ol>	<ul> <li>・取水ピット水位計</li> <li>・ドレーン</li> <li>・接続桝</li> <li>・揚水井戸</li> <li>・揚水ポンプ</li> <li>・水位計</li> <li>・制御盤</li> <li>・電源盤</li> <li>・関連配管・弁</li> </ul>	
<ul> <li>③ 非常用ディーゼル</li> <li>発電機等の燃料を貯</li> <li>蔵する設備の格上げ</li> <li>(C→S クラス)</li> </ul>	<ul> <li>・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ</li> <li>・非常用ディーゼル発電設備軽油タンク</li> <li>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ</li> <li>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 軽油タンク</li> <li>・関連配管・弁</li> </ul>	

表 2-1 建設時工事計画認可から耐震重要度分類が変更となった設備

## 表 2-2 検討用地震動が変更となった設備

	設備名称	備考
		耐震重要度分類
波及的影響を考慮すべ		の変更ではない
き施設に適用する地震	「百乙烷建長カル」)	が, 検討用地震
動の変更	・原子炉建屋クレーン	動が変更となっ
$(S_1 (Sd) \rightarrow Ss)$		た設備として抽
		出

添付資料1

## 設置変更許可時からの変更点

			設置	量変更許可	-		-					今回	工事計画認可	
(注5)	檢討用 地震動 (注6)		ຽ ແລະ ແລະ	× × × ×	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	s s			\$	検討用 地感動	× × × × × ×	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	× × × × ×	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×
波及的影響を考慮すべき施設(	適用範囲		・原子が理想シレーン ・燃料之後機 ・開御解約歳ハンガ ・開御解約歳マック ・燃料チャンネル着 脱損 ・効ービン独居	<ul> <li>中均開始(5,5)共設明</li> <li>・ 中2、地路</li> <li>・ カロカキンター金融</li> <li>・ 1 男な明朝建長 ③</li> </ul>	・海水ボンブ室門 翌クレーン - 竜参防護ネット - 前面露岸 - 所行が過感レーン - 中内調確式入田線明 - 耐人開発 - ウービン都属	・補助ボイラー建屋 ・1号炉制御建屋③	_		波及的振響を 考慮すべき施設*	適用範囲	<ul> <li>・ 原子炉しゃへ、壁</li> <li>・ 中央制御室天井熊明</li> <li>・ ケービン建屋</li> <li>・ 補助ボイラー進屋</li> <li>・ 第134編編編集員</li> </ul>	- 原子伝統屋クレーン - 然本で残機器 - 制御神術派シンガ - 制御神術派ラック - 制御神術派テック	・中央地域電気と井原明 ・タービン電気 ・補助パイラー地量 ・第1号機時線距景 ③	・描かれたング室 門型シレーン 「四シレーン 「広都が属ネット 「広都が属ネット 「中国」 「中国」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一
(注4)	檢討用 地震動 (注6)	S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	° °	× × × ×	8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		-		R	枪时用 地震动 **	s s s S S S	Ss	s s s S S S	× × × × × × × × ×
間接支港構造物	適用範囲	<ul> <li>・原子炉木件の基 礎</li> <li>・原子炉建居</li> <li>・創御建屋</li> </ul>	·原子炉缝屋	<ul> <li>・原子炉砂塔</li> <li>・原子炉本件の基 確</li> <li>・朝御建屋</li> </ul>	- 原子伊健屋 - 海水ボンブ省 - 所水配管グリ - 市大配管グリト - <b>唯祖タンク基礎</b> - 整油タンク連終 - ダクト - 動御健屋				間接支持構造物*	適用範囲	・原子炉本体の基礎 - 原子が建屋 - 制御地屋	・原子が継屋	-原行行建居 -原行行本体の基礎 - 南海地星	<ul> <li>所子が建造</li> <li>第六パンプ室</li> <li>第六パンプ室</li> <li>所分クト</li> <li>「「「「」」」」</li> <li>「「「」」」</li> <li>「「」」」</li> <li>「「」」</li> <li>「「」」</li> <li>「」」</li> <li>「」</li> <li>「」」</li> <li>「」」</li> <li>「」」</li> <li>「」</li> <li>「」」</li> <li>「」</li> <li>「」<!--</td--></li></ul>
物 (注3)	町 歳 少ラス	s s	N	s	s				*	耐 歳 クラス	s s	s	ω	Ś
直接支持構造物	適用範囲	<ul> <li>・原子炉圧力容器支 持スカート</li> <li>・機器・配管、電</li> <li>気計装設備等の</li> <li>支持構造物</li> </ul>	・機器の支持構造 物	<ul> <li>・機器・配管,電</li> <li>気計装設備等の</li> <li>支持構造物</li> <li>支持構造物</li> </ul>	<ul> <li>機器・配管、電気計整設備等の</li> <li>支持構造物</li> </ul>				直接支持構造物*8	適用範囲	・原子炉圧力容器支持 スカート ・機器・直管、電気計 装設備等の支持構 説物	・機器の支持構造物	・機器・配管、電気計 装設備等の支持構 送物	-機器・配管、電気計 装設備等の支持構 道物
(注2)	耐 通 クラス	s	I	ννν	o o o o	S				<u>耐</u> 成 クラス	s	I	w w w	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
補助設備	適用範囲	<ul> <li>隔離弁を閉とす るために必要な 電気計装設備</li> </ul>	ſ	・ 垣心支持構造物 ・電気計装設備 ・ チャンネルボッ クス	当該施設の冷却 系(原子炉補機冷 超系) 手の支持構造物 非常相電源及び計 装設備(ディーゼ 心治加系、補助施設	を含む) ・当該施設の機能 維持に必要な空 調整備			補助設備#2	適用範囲	・開催作を閉とするた めに必要な電気計 装設備	T	・近心な瑞館物 ・電気計構造備 ・チャンネルボックス	当該施設の希知系 第二次中制能的活用系 第二次中制能的活用系 第二次中制能的活用系 第二次中制能的化合相接 非常相相的成化合相接 電機板 びそつ 冷却 素 補助価語を含む 二式が確認の機能相称 二式が確認の機能相称
(连1)	耐 歳 クラス	s s	s s	s	a a a	s	-			<u>耐</u>	s s	s s	ω	α ααα
主要設備	適用範囲	・原子炉圧力容器 ・原子炉治地料圧力 バウングリに属す る容器・配管・ボ ンプ・キ	<ul> <li>・使用済燃料プール</li> <li>・使用済燃料貯蔵ラ</li> <li>ック</li> </ul>	<ul> <li>・制御棒, 制御棒塚, 動機構及び制御棒 駆動水圧系(スク 東面水圧系(スク 第分)</li> </ul>	<ul> <li>・原子垣隔離時沿 均系</li> <li>・高圧炉しスプレ イ系</li> <li>・残留熱除た系(等</li> <li>・残留熱除た系(等</li> <li>・地時沿其モード 通転に必要な設 館</li> </ul>	<ul> <li>・ 治却水源 こしての</li> <li>サプレッションチ</li> <li>ェンバ</li> </ul>			主要設備*1	適用範囲	・原子伊正力容器 ・原子炉合却が圧力からウ ンダリに属する容器・ 配管・ボンブ・弁	・使用済然料プール・使用済然料洗デック	・制御峰、制御候郷動機 構及び制創練駆動水 圧系(スクテム機能に 関丁る部分	・原子特殊解析治療系 ・商品にシスレイ系 ・商品にシスレイ系 ・商品にない 含用モード運転に必 参加活動 ・がは引く際した ・がはしたのサイ レッションチェンバ
	機能別分類	<ul> <li>(i)「原子炉冷却 材圧カパウンダ リ」を構成する 機器・配管系</li> </ul>	(11) 使用済燃料を 貯蔵するための 施設	(田)原子哲の緊急 体上のために急 酸に真の反応度 酸に対して応度 の施設などのため の施設ない原子 有の停止状態を 維持するための 簡設	<ul> <li>(iv)原子切停止</li> <li>(jv)のら前</li> <li>(jv)のら前</li> <li>(jv)の施設</li> <li>ための施設</li> </ul>					機問い類	(1)「原子炉合地材圧力 パウンダリ」を構成す る機器・配管系	(11)使用済燃料を貯蔵 するための施設	(油)原子中の緊急停止 のために急激に負め 反応度を付加するた めの施設及び服子中 の停止状態を維持す るための施設	(h)所行時任後、知心 から前被熱を除去す るための編度
	耐痰重要度 分 類	S 7 7 X								·帕德重要度 分 類	Sクラス			

		تة ا	電変更許可					今回工事	事計画認可	
14	檢討用 地震動	(注fe)	1	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			検討用 地運動	× × × × × × × × ×	8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×
波及向影響? 老唐十八3年始時	適用範囲	・海水ボンブ室門 型タレーン 電参防護キット - 航面護客 - 市力場臨シーン - 市力場臨シーン - 市力場路シーン - 市力場底 - 1号炉開弾地底③	<ul> <li>・原子炉ウェル進 載プラグ⑤</li> <li>・中以師経送共期明</li> <li>・タービン種屋</li> <li>・補助ポイラー建屋</li> <li>・1号炉制簡確屋(3)</li> </ul>	<ul> <li>1.8494年交話(3)</li> <li>第大ボンナ室川 型クレーン</li> <li>第ケビーン</li> <li>希望防衛会子</li> <li>第中公園館会子建築</li> <li>中い公園館会子建築</li> <li>41.9454</li> <li>41.9454</li> <li>41.9454</li> </ul>		波及的滑灣を 考慮すべき施設*8	適用範囲	- 道会にン金 - 道会にン金 - 他世界シーン - 他で語知識ネット - 他でお知識タレーン - 他の一人 - 一人 - 他の一人 - 一人 - 他の一人 - 他の一 -	- 原子招サエルナパー - 中央開催室天井照明 - サービン建築 - 補助ポイラー連屋 - 第1 另欄開創建屋 ③	- 第1 2488月26日 一部1222 - 第六12-7至 一部2512-7至 中型25 - 1-12 一部25125 - 1-2 中型488月255 - 1-2 中型488月2555 - 1-2 中型488月2555 - 1-2 中型488月255 - 1-2 - 1-12-1848 - 1-
物 (315-21)	檢討用地震動	(注)		ທັນທີ່ ທີ່ທີ່ ທີ່ ທີ່ ທີ່ ທີ່ ທີ່ ທີ່ ທີ່					s s S	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×
間変支持構造物	適用範囲	<ul> <li>原子が建築</li> <li>市水ボンプ室</li> <li>市水ボンプ室</li> <li>市水市ダメクト</li> <li>・ (協用タンク連載</li> <li>・ (協用タンク連載</li> <li>・ (協用タンク連載</li> <li>・ (協用タンク連載</li> <li>・ (協用タンク連載</li> <li>・ (協用タンク運転</li> </ul>	· 原子炉巷屋 • 制御建屋	- 原子伊建居 - 南子州之子 第子州之子 御子根子子 御子 御子 子 子 子 子 子 子 子 一 道 絵 ク 一 子 載 子 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		間接支持構造物料		<ul> <li>原子学校建設</li> <li>市子学校主義</li> <li>市子学校、日本学校、日本学校、日本学校、日本学校、日本学校、日本学校、日本学校、日本</li></ul>	- 原子状地壁 - 制御姫地屋	<ul> <li>第247年9月時</li> <li>第247年9月</li> <li>第247年11日</li> </ul>
10 (GF - D )	町 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	< v	s	ω			耐 歳 クラス	s	s	×
直接支持構造物	適用範囲	機器・配管、電 気を設置する 支持構造物 支持構造物	<ul> <li>機器・配管・置</li> <li>気音装設備等の</li> <li>支持構造物</li> </ul>	- 機器・配管・配 気量装設備等の 支持構造物 支持構造物		直接支持構造物**		・機器・危険・危険・ 装設備等の支持構 道物	機器・配路、電気は 装設備等の支持構 道物	+ 機能。 在197、 電気は十 装設(価等の) 支持特別法 身
(34.0)	11-11	x x x x	s	v v v			耐 クラス	v v v v	s	α α α
補助設備	適用範囲	治機 及イ及・2の 当機な 却冷 びーび補 進 能空	・隔離弁を閉とす るために必要な 電気計装設備	・当該施設の治却 ※(店ナ炉舗接合 海約) ・非常田電源及び ・非常健備でイー たり希信線及イ たの治却地、 一 中の治知地、 当 時間を含む 開設信 のな空 調設信		補助設備*2	適用範囲	当該施設の治却特別 中学行力制能がはおり 中学行力制能がはなり 中学行力制能がはなり 中学力・確立 設備にディーセン・発 一般の 一での活動 デージンを 一での活力 デージンを 一での の活動 にの 一での の活力 の の に の の の に の の の に の の の 一 で 一 で の の の 一 で 一 で の の し で の の し で し で の の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で し で の し で の し で の し で の し で の い の の し で の い の の で の い の の し で の い の の で の の い の の で の い の い の の で の い の の し の の い の の し で つ い の の し で の の い の の い の の い の い の い の い の で の の い の い の い の い の の で の い の い の の の の い の の の の い の い の い の い の い の の の い の い の い の い の い の い の い の い の い の い の い の い の い し い し の し い の い の し い し い の し い し い し い の し い の し い し し い に い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し し い し し し し し し し し し し し し し	・瞬離弁を閉とするた めに必要な電気計 装設備	生活体に定った事業 (第二十一世紀) (第二十一世紀) (第二十一世紀) (第二世紀) (第二世紀) (二乙) (二乙) (二乙) (二乙) (二乙) (二乙) (二乙) (二乙
(34:4.)	(L-1/) 耐震 クラス		s so	a a a a a a a a a a a a a a a a a a a			耐 歳 クラス	o o	s s	າ ຈານເພັນ
主要能備	適用範囲	100 M 81 100 M 100 M	・原子炉格納容器 ・原子炉格納容器 バウンダリに属 する配管・弁	検密操縦大手( 一般電操縦大大レイ 一般電振ステレイレイ 市場電子 にの要な設備 同時来 同様生力ス違度 同時来 加速子が建築に 力な構造 加速子が 中 中 なな の し の し の に 力 し の に た し で に し に に に に し に に に に に に に に に に に に に		主要說例備#1	適用範囲	非常用いたがあった。 和学校になった。 2.0 時日やレンデナレイ系 2.0 時日やレンデナレイ系 3.9 時日かどデナレイ系 3.5 年日のションチェンバ たっとしてのサデ レッションチェンバ	・原子伊格納容器 ・原子伊格納容器ハウン ダリに属する配管・弁	・現旧評価に示派(特徴作者) 「日本」として、(法規作者) 「日本」と、「公式」の「日本」の「公式」の「日本」の「公式」の「日本」の「日本」の「日本」の「日本」の「日本」の「日本」の「日本」の「日本
	機能別分類	<ul> <li>(v)原子炉治填材</li> <li>(v)原子炉治填材</li> <li>(xウンダリ酸</li> <li>(水ウンダリ酸</li> <li>(水ウン)</li> <li>(水ウン)</li></ul>	(d)原子炉冷却材 圧力パウンダリ酸 損事故の際に,圧 力障壁となり放射 性物質の放散を直 括防ぐための施設	<ul> <li>(ii)放射性物質の 放用を伴うような な以の際に、 を認め酸に</li> <li>それの施設で上 えための施設で上 部(vi)以外の施設</li> </ul>			機問防領	(v) 原本的指指社工 スペン・ダリ 後指事権 後、邦立から前接続任 廃止するための施設 廃止するための施設	(vi)原子炉冷却材圧力 パウンダリ酸損事故 の際に 圧力源鍵とな り放射性物質の放散 を直接防ぐための施 設	(4)) 放射性動質の放出 設計(1) ような形成の 統二子の外部の確認 第二子の外部の確認 で上記(4))以外の施設 設
	耐震重要度 分 類	2 July 2 S				include the controls	分 類	8.17.X		·

		設置	変更許可	1	r				事計画認可	
L AC	(任5) 検討用 地震動	(440) S S S S S S S S S S S S S S S S S S S				\$	₩÷ ==	وي ک م م م م م م م م م	(C)	
波及内影響を		<ul> <li>商水ボンブ釜門</li> <li>型クレーン</li> <li>翌み市油がンプ</li> <li>第男が買いンプ</li> <li>電参切読キット</li> <li>3号が買いお留⑤</li> <li>1 フセスルート(3)</li> <li>アービン独居</li> <li>タービン独居</li> </ul>	<ul> <li>施水ボンフ室門</li> <li>液水ボンフ室門</li> <li>液を防護キット</li> <li>液を防護キット</li> <li>前市調準(4)</li> <li>35.5700×680</li> <li>35.9700×680</li> <li>35.9700×680</li> <li>35.9700×680</li> <li>35.9700×680</li> <li>35.9700×680</li> <li>35.9700×680</li> <li>47.970</li> <li>47.940</li> <li>47.970</li> <li>47.970<td>原子の報題シレーン 低子の意識をし、 低子の意識に に子の意識に テストタンと 中の時齢が以供明 前本ホンプ室内 着なたいまえる の の の の の の の の の の の の の</td><td></td><td>波及的景響を考慮すべき施設</td><td>適用範囲</td><td>前秋代シブ葉 門腔シレーン 「芭蕾の読みさい」 第1号編的と4名 (1月11年4名) (1月11年4名) (1月11年4名) (1月11年4名) (1月11年4月) (1月114) (1月11年4月) (1月11) (1</td><td><ul> <li>液水ボンブ室</li> <li>液水ボンブ室</li> <li>門切りレーン</li> <li>市営路(源素 ット</li> <li>北田県形塔</li> <li>ナリマンハート</li> <li>(15,40%)</li> <li>(15,40%)</li></ul></td><td>市大学研究のシーム 市大学の建設シーン 一部大学が参加 によう他がたしみ。 によう他がたしみ。 市大・タング 中央の時間が広け場合 市理型シーン 電磁の振動ネット 一部のレイン一連転 通知したインー連転 通知したインー連転 通知したインー連載 通知したインテロ で、 第二の一部での で、 の の の の の の の の の の の の の</td></li></ul>	原子の報題シレーン 低子の意識をし、 低子の意識に に子の意識に テストタンと 中の時齢が以供明 前本ホンプ室内 着なたいまえる の の の の の の の の の の の の の		波及的景響を考慮すべき施設	適用範囲	前秋代シブ葉 門腔シレーン 「芭蕾の読みさい」 第1号編的と4名 (1月11年4名) (1月11年4名) (1月11年4名) (1月11年4名) (1月11年4月) (1月114) (1月11年4月) (1月11) (1	<ul> <li>液水ボンブ室</li> <li>液水ボンブ室</li> <li>門切りレーン</li> <li>市営路(源素 ット</li> <li>北田県形塔</li> <li>ナリマンハート</li> <li>(15,40%)</li> <li>(15,40%)</li></ul>	市大学研究のシーム 市大学の建設シーン 一部大学が参加 によう他がたしみ。 によう他がたしみ。 市大・タング 中央の時間が広け場合 市理型シーン 電磁の振動ネット 一部のレイン一連転 通知したインー連転 通知したインー連転 通知したインー連載 通知したインテロ で、 第二の一部での で、 の の の の の の の の の の の の の
50	(注-1) 検討用 地震的		s s s s s s s s s s s s s s s s s s s				檢計用 地感動		S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	ແລະ ເບັດເຊັ້
間後支持構造	適用範囲	<ul> <li>3号炉南水熟交 機器健屋(6)</li> <li>約端定(7)</li> <li>防端定(7)</li> <li>防端定(7)</li> <li>防油管(2)</li> <li>防油管(2)</li> <li>防力学加速(2)</li> <li>防力子加速(2)</li> <li>防力力(2)</li> <li>防力(2)</li> <li>防力(2)</li> <li>防力(2)</li> <li>防力(2)</li> <li>防力(2)</li> <li>防力(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>(3)</li> <li>(3)</li> <li>(4)</li> <li< td=""><td><ul> <li>原子布東県</li> <li>原油融色()</li> <li>防湖地色()</li> <li>防水地学/)</li> <li>市水北小子湾()</li> <li>市水北学/)</li> <li>市水市学/)</li> <li>市水市学/)</li> <li>市油学/)</li> <li>市油学/)<td><ul> <li>原子が速展</li> <li>海大がどろ金</li> <li>海大記と方義認らす</li> <li>第大記をない</li> <li>第大記をない</li> <li>第二の支援</li> <li>第二の大郎の</li> <li>第二の木体の</li> </ul></td><td></td><td>間接支持構造物<sup>44</sup></td><td>適用範囲</td><td></td><td>日本理論 制度 (金田子島坊) 一切 子が現記が現価が記憶ダ ト ト ト ト 一 加速の 一 の の の の の の の の の の の の の</td><td><ul> <li>所子が理由</li> <li>前かれどンプ室</li> <li>所子地認治症的免疫管ダ</li> <li>テ子地認治症的免疫管ダ</li> <li>ティーン型</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン)</li> <li>(第日クノン)</li> </ul></td></li></ul></td></li<></ul>	<ul> <li>原子布東県</li> <li>原油融色()</li> <li>防湖地色()</li> <li>防水地学/)</li> <li>市水北小子湾()</li> <li>市水北学/)</li> <li>市水市学/)</li> <li>市水市学/)</li> <li>市油学/)</li> <li>市油学/)<td><ul> <li>原子が速展</li> <li>海大がどろ金</li> <li>海大記と方義認らす</li> <li>第大記をない</li> <li>第大記をない</li> <li>第二の支援</li> <li>第二の大郎の</li> <li>第二の木体の</li> </ul></td><td></td><td>間接支持構造物<sup>44</sup></td><td>適用範囲</td><td></td><td>日本理論 制度 (金田子島坊) 一切 子が現記が現価が記憶ダ ト ト ト ト 一 加速の 一 の の の の の の の の の の の の の</td><td><ul> <li>所子が理由</li> <li>前かれどンプ室</li> <li>所子地認治症的免疫管ダ</li> <li>テ子地認治症的免疫管ダ</li> <li>ティーン型</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン)</li> <li>(第日クノン)</li> </ul></td></li></ul>	<ul> <li>原子が速展</li> <li>海大がどろ金</li> <li>海大記と方義認らす</li> <li>第大記をない</li> <li>第大記をない</li> <li>第二の支援</li> <li>第二の大郎の</li> <li>第二の木体の</li> </ul>		間接支持構造物 <sup>44</sup>	適用範囲		日本理論 制度 (金田子島坊) 一切 子が現記が現価が記憶ダ ト ト ト ト 一 加速の 一 の の の の の の の の の の の の の	<ul> <li>所子が理由</li> <li>前かれどンプ室</li> <li>所子地認治症的免疫管ダ</li> <li>テ子地認治症的免疫管ダ</li> <li>ティーン型</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン型(第ダクト)</li> <li>(第日クノン)</li> <li>(第日クノン)</li> </ul>
物	(王3) 専 (王3) (三) (王3)	10	S	v v			減ラス	· 第亚世的防害之,原用物理之資水油就		
直接支持構造物	開	) 文特 精	10倍、 10倍 10倍 10倍 10倍 10倍 10倍 10倍 10倍	10歳、 10歳 10歳 10歳 11歳 11歳 11歳 11歳 11歳 11歳 11歳		记也物*3	耐く		资大 S	
直後	適用範囲	• 機器等 ·	<ul> <li>機器:配管:電気:</li> <li>気音装設備等の</li> <li>支持構造物</li> </ul>	<ul> <li>機器・配管、電 気=装設備等の</li> <li>支持構造物</li> <li>原子却圧力容器</li> </ul>		直接支持構造物*3	適用範囲	・機器院の交対特徴 近時の	機器 配管, 電気 計装設備等の支 持備證約	機器 電管、電気 計業設備等の支 持備設備 ・原子如日子容器
10 40	(注2) 夏 濃 クラス	1	Ś	s			耐 選 クラス			· · ·
補助設備	適用範囲	1	<ul> <li>非常用電源及び</li> <li>非装設備(ディー ビナムの着電機及び その冷却系、補 助施設を含む)</li> </ul>	<ul> <li>非常用電源及び 計装設価(ディー 社 か客電機及び その活換及び</li> <li>その治理派、抽 助施設を含む)</li> </ul>		補助設備#2	適用範囲 か	1	- 特別用的成長の保護 設備です。の治剤 - 直接及びその治剤 - 兵種切脂設を含む)	- 学校計画部及る計委 設備 (構成でインーガン培 長・油明施設を合わ)
( + 40)	(圧 L) 費 濃 クラス		w w	ν ν ν		-	蔵して		SS SS	
主要設備	適用範囲	<ul> <li>- 防潮堤</li> <li>- 防潮壁</li> <li>- 市政水路流貨箱</li> <li>- 中立水路道</li> <li>- 中田堰</li> <li>- 中田市</li> <li>- 中田市</li> <li>- 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一</li></ul>	・推波監視カメラ ・取水ビット水低計	<ul> <li>燃料ブール水補給</li> <li>燃料ブール水補給</li> <li>酸料ブール水</li> <li>(資料)・ル水</li> <li>の補給に必要な設備)</li> <li>(通)</li> <li>(1)</li> </ul>		主要設備*1	高く			・統計ブール大利指記2 5 (第105世紀)(第155年) (第155世紀)(第155年) (第17年)(第155年)(第155年) (第17年)(第155年) (第17年)(第155年)(第155年) (第17年)(第155年)(第155年) (第17年)(第155年)(第155年)(第155年) (第17年)(第155年)(#155年)(#155年)(#155年)(#155年)(#155年)(#155年)(#155年)(#155年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#1555年)(#155579)(#15579)(#1557999)(#155799)(#1557999000000000000000000000000000000000
	機能別分類	(血) 津波防護機能 を有する施設及CF 浸水防止機能を有 する設備 する設備	<ul> <li>(k) 敷地における 津波監規機能を有 する設備</li> </ul>	<ul><li>(1)その他</li></ul>			機能的防衛	<ul> <li>(4)消费的资源</li> <li>(4)消费的资源</li> <li>(4)公司</li> <li>(4)公司</li> <li>(4)公司</li> <li>(4)公司</li> <li>(5)公司</li> <li>(5)公司</li> <li>(5)公司</li> <li>(5)公司</li> <li>(5)公司</li> <li>(6)公司</li> <li>(7)公司</li> <li>(7</li></ul>	<ul> <li>(b) 軟地における評詞。</li> <li>売税機能を有する編</li> <li>・</li> <li>・&lt;</li></ul>	他の後、後になっていた。
	耐震重要度 分類	ک کر بر ج					分類	(10) 1-7-5 1-1-1	(IS) 開始 段	(X) (X)

	設置変更許可	今回工事計画認可
(注1) (注2)	主要設備とは、当該機能に直接的に関連する設備をいう。 補助設備とは、当該機能に間接的に関連し、主要設備の補助的役割を 持つ設備をいう。	注記*1: 主要設備とは、当該機能に直接的に関連する設備をいう。 *2: 補助設備とは、当該機能に間接的に関連し、主要設備の補助的役割を持つ設備 をいう。
(注3)	高をいう。 直接支持構造物とは、主要設備、補助設備に直接取り付けられる支持 構造物又はこれらの設備の荷重を直接的に受ける支持構造物をいう。	*3: 直接支持構造物とは,主要設備,補助設備に直接取り付けられる支持構造物又 はこれらの設備の荷重を直接的に受ける支持構造物をいう。
(注4)	間接支持構造物とは,直接支持構造物から伝達される荷重を受ける構 造物(建物・構築物)をいう。 (7)	*4: 間接支持構造物とは、直接支持構造物から伝達される荷重を受ける構造物(建物・構築物 土木構造物) <sup>10</sup> をいう
(注5)	波及的影響を考慮すべき施設とは、下位の耐震クラスに属するものの 破損等によって上位の分類に属するものに波及的影響を及ぼすおそれ	*5: 波及的影響を考慮すべき施設とは、下位クラス施設のうち、その破損等によっ <sup>10</sup> て上位クラス施設に波及的影響を及ぼすおそれのある施設をいう。
(注6)	<ul> <li>のある施設をいう。</li> <li>S s : 基準地震動 S s により定まる地震力</li> <li>S d : 弾性設計用地震動 S d により定まる地震力</li> <li>S B : B クラス施設に適用される地震力</li> </ul>	<ul> <li>*6: Ss:基準地震動Ssにより定まる地震力</li> <li>Sd:弾性設計用地震動Sdにより定まる地震力</li> <li>S<sub>B</sub>: Bクラス施設に適用される地震力</li> <li>Sc: Cクラス施設に適用される静的地震力</li> <li>*7: ほう酸水注入系は、安全機能の重要度を考慮して、Sクラスに準じて取り扱う。</li> </ul>
(注7)	Sc : Cクラス施設に適用される静的地震力 ほう酸水注入系は、安全機能の重要度を考慮して、Sクラスに準じて 取り扱う。	*8: 原子炉圧力容器内部構造物は、炉内にあることの重要度を考慮して、Sクラス に準じて取り扱う。
(注8)	原子炉圧力容器内部構造物は,炉内にあることの重要度を考慮して, Sクラスに準じて取り扱う。	*9: Bクラスではあるが,弾性設計用地震動Sdに対し破損しないことを確認する。 *10: 主蒸気逃がし安全弁排気管については,基準地震動Ssに対して破損しないこ
(注9)	Bクラスではあるが,弾性設計用地震動Sdに対し破損しないことを 確認する。	とを確認することで、蒸気凝縮性能の信頼性を担保する。 *11: C クラスではあるが、基準地震動S s に対し機能維持することを確認する。
(注10)	主蒸気逃がし安全弁排気管については,基準地震動Ssに対して破損 しないことを確認することで,蒸気凝縮性能の信頼性を担保する。	
(注11)	Cクラスではあるが,基準地震動Ssに対し機能維持することを確認 する。	